

質疑・一般質問

12月5日、8日、9日の本会議では、22人の議員が登壇し、重点支援地方交付金を活用した物価高対策や新ごみ処理施設整備基本計画などについて、市の見解を求めました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、二次元コードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — ( ) は会派名

千住啓介(自由民主党明石・代表質問)  
①高市内閣による強い経済を実現する総合経済対策である重点支援地方交付金の拡充 ②来年度実施する小学校体育館への空調設備設置事業 ③神戸マラソン2025大会 ④明石サービスエリアにおけるスマートインターチェンジ設置

梅田宏希(公明党)  
①重点支援地方交付金を活用した物価高対策 ②教育改革と子どもの「今」を中心に据えた教育行政 ③明石市教育委員会における来賓招待の在り方

山中裕司(市民の会)  
①若者の自殺を防ぐための取組 ②地域文化の担い手不足への支援策

宮坂祐太(明石かがやきネット)  
①カスタマーハラスメント防止対策 ②景観計画の策定による明石の地域特性を踏まえた景観まちづくり

高尾秀彰(明石維新の会)  
①歴史的町並み・文化施設を守り、市民の安全につなぐ防災対策

出雲有希子(自由民主党明石)  
①学童保育の現状と体育館空調設備を活用した環境改善 ②小学校給食費無償化に伴う財政への影響と学校諸費の公会計化

尾倉あき子(公明党)  
①来年度本格実施となる「こども誰でも通園制度」 ②さらなる認知症支援として認知機能検診の実施を ③明石駅周辺のにぎわいの創出

黒田智子(市民の会)  
①不登校支援 ②学習障害を含む発達障害の早期発見と支援 ③明石サービスエリアへのスマートインターチェンジ設置

林丸美(明石かがやきネット)  
①新年度の主な取組(令和7年度予算分)に記載の各種「在り方の検討」の進捗と意思決定 ②野々池貯水池の今後の在り方検討の早期具体化と利活用に向けた取組 ③議案第87号 水とみどりでつながるあかしネイチャーポジティブ宣言のこと

正木克幸(明石維新の会)  
①歳出削減及び歳入拡大 ②本市所有資産の有効活用

灰野修平(自由民主党明石)  
①あかし保健所1階多目的ホールの活用 ②地域経済活性化と地域産業強化に向けた支援体制の再構築 ③ごみ分別促進及び最終処分場の延命化に関する取組

長尾博子(公明党)  
①不登校児童生徒への支援 ②本市の中小企業・中小事業者への支援の拡充 ③本市の敬老優待乗車券「寿タクシー利用券」の見直し

上田雅彦(市民の会)  
①新ごみ処理施設整備・運営事業 ②明石市地球温暖化対策実行計画

中村茂雄(明石維新の会)  
①中高年のひきこもり支援の拡充 ②南海トラフ巨大地震対策

三好宏(自由民主党明石)  
①明石市の農業の現状とその支援策 ②下水道事業の広域化 ③道路交通法の改正に伴う自転車の罰則規定

飯田伸子(公明党)  
①市民の健康増進のために健康ポイント制度の拡充を ②新型コロナウイルスワクチン定期接種費用の自己負担額軽減

金尾良信(市民の会)  
①障害(児)者の移動支援のさらなる充実 ②災害発生時における福祉避難所のさらなる充実 ③住みなれた地域で安全・安心に暮らせる環境づくり

中川夏望(市民の会)  
①明石駅周辺地区における取組 ②学校給食の充実 ③子育て支援のさらなる拡充

山下祥(市民の会)  
①暮らしているだけで健康になるまち「アクティブシティ」を目指して

辻本達也(日本共産党)  
①明石市自治基本条例に係る市長の認識 ②大久保北部のスマートインターチェンジ設置計画 ③PFAS汚染への対応

中西礼皇(対話の会あかし)  
①議案第87号 水とみどりでつながるあかしネイチャーポジティブ宣言のこと ②放課後児童クラブ

家根谷敦子(スマイル会)  
①豊かな海づくり

明石の大切な海を次世代へ

豊かな海づくりに参画できる

体験型イベント開催

問 明石の大切な海を次世代へ引き継ぐために、子どもたちが海の現状や環境への影響などを知る機会を増やすべきと考える。令和7年8月に小学生を対象とした体験型イベントを開催したが、来年度以降の開催について聞く。

答 本市は水産物に恵まれた海のまちとして全国的に知られているが、近年は栄養塩類の減少等による



船に乗って明石の海を体感

漁獲量の減少など水産業を取り巻く環境は厳しい。環境保全を目指す取り組みとともに市民が海を身近に感じ取り組みが重要と考える。今年度は、子どもと保護者を対象に、たこつばの絵付けやタツチプール、たこ料理の試食等、明石の海を体験できるイベントを新たに実施した。10組20人の募集に対し247組の申し込みがあったため、今後は募集人数

問 新ごみ処理施設整備の検討状況を聞く。

答 新ごみ処理施設は、国の交付金制度を活用し整備するが焼却施設を令和10年度以降に着工する場合、交付金の減額措置の対象となるため9年度の着工を予定している。乾式メタンガス化施設は、生ごみや紙類などをメタンガスに変換しエネルギー

新ごみ処理施設

整備に向けた

検討状況は

問 明石市の歴史的町並みや建造物を守り、次世代へ継承していく。歴史的町並みや文化遺産の記録化

後世に継承するための取り組みは

問 明石市の歴史的町並みや建造物を守り、次世代へ継承していく。歴史的町並みや文化遺産の記録化

答 本市は歴史的建造物や商店街、文化施設を

歴史的町並みや文化遺産

防災対策や資料等の記録化

後世に継承するための取り組みは



老朽化が進む現施設(明石クリーンセンター)

問 市内の事業者を対象としたカスタマーハラスメント(以下、カスハラ)防止条例を制定しないか。

答 同条例は、顧客等の過度な言動から労働者を守るため事業者が労働者の安全を確保するための対策を講じ、顧客等がカスハラを行わ

企業や自治体に義務付け  
カスタマーハラスメント防止対策  
まずは事業者や市民の意識啓発を

問 市内の事業者を対象としたカスタマーハラスメント(以下、カスハラ)防止条例を制定しないか。

答 同条例は、顧客等の過度な言動から労働者を守るため事業者が労働者の安全を確保するための対策を講じ、顧客等がカスハラを行わ

問 市内の事業者を対象としたカスタマーハラスメント(以下、カスハラ)防止条例を制定しないか。

答 同条例は、顧客等の過度な言動から労働者を守るため事業者が労働者の安全を確保するための対策を講じ、顧客等がカスハラを行わ

含めた地震や風水害に関するハザードマップを作成し、防災対策等の啓発を行っている。また、明石市文化財保存活用地域計画の中で歴史的文化遺産の現状や防災の方針等を明記している。

消防局は、重要文化財や商店街等に対し、

消防用設備等の設置や維持管理、防火管理の状況等について定期的な立ち入り検査を行い指導するなど火災予防の啓発に努めている。また、市指定文化財の警報・消火・盗難防止設備等の経費や復旧工事の経費の2分の1を補助している。

さらに、歴史的価値の高い文化財資料等のデジタル化や記録・保存は、明石の歴史文化遺産等を後世に継承する重要な取り組みと認識している。

今後関係団体や市民と協力しながら、可能な限り記録化に努めていく。